

●三位一体後第四主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第十二編」

人は友に向かつて偽りを言い

滑らかな唇、二心をもって話します。

主よ、すべて滅ぼしてください

滑らかな唇と威張って語る舌を。



## 神に覚えられた異邦人

聖書全体を調べても、神の天使が現れて直接名前を呼んだ信仰者は多くなく、アブラハムや使徒パウロといった、神に認められた信仰者たちだけです。神の民イスラエルの中にもほとんどいない中で、異邦人であるローマの百人隊長コルネリウスが神の天使から名を呼ばれているのです。

イスラエルの神を信じ、信仰を持って歩んでいたコルネリウス。彼の純真な信仰は具体的な行いに表れていました。彼は「民に多くの施し」をしていました。イスラエルの地カイサリアに住んでいたことから、同胞のローマの民に対してだけではなく、支配下においているユダヤ人にも手を差し伸べ、施していたと思います。部隊を統率し、日々様々な働きを為して手に入れた富や財産を手放す。それを考えるだけでも、容易ではなく、家族の生活を切り詰める必要さえあったかもしれません。その中で、多くを施す彼には、弱く貧しいものたちを助けたい、自分のためではなく、人のために生きる純真な心が見られるのです。神はこうした施しをご自分の民に求めておられました。申命記には「貧しい同胞に対して手を閉ざすことなく、必要とするものを十分に与えなさい」とありますが、彼の姿はこのみことばの通りに生きる姿です。神が求めておられた隣人愛を実行していたのです。

さらに、彼は一家揃って神を恐れて、側近の部下も同じ信仰を持っていました。家庭や職場においても、神を恐れ、神の前に横暴な振る舞いや不誠実なわざを避け、どこにいても、誰に対しても、真実を尽くしていたのでしょう。家族や部下はその人柄に触れる中で、自らも彼のように生きたいと願い、信仰へと招き入れられていたと思います。彼を通して、異邦人の家が神の家として建て上げられていたのです。

午後3時ごろ、祈っていた彼の幻に天使が現れ「あなたの祈りと施しは神の前に届き、覚えられた」と告げ、ヤツファのペトロを招くよう命じます。彼はすぐに信頼する召使いと部下を遣わしました。そして4日後、ペトロを通してイエス・キリストの福音が彼に証されます。自らが恐れ、敬う神が、御子イエスをお与えくださり、御子は異邦人である自分の罪を贖うため、十字架で死んでくださったことを知るので。ご自分を与えてくださった主の前に心砕かれ、罪を悔い改め、主イエスの弟子として歩み出していきます。その中で、主が為してくださいましたように、彼も人のためにますます自らを与える、愛のわざに励んでいく、隣人愛に生きる道をまっすぐに歩んでいったのではないでしょうか。

コルネリウスの祈りと施し、日常のすべてをご存じであった神は、いまでも人の全てをご存じです。わたしたちはいつでも、どこにいても、神の前を生きています。神は、人のために御子イエスをお与えくださいました。純真な主イエスのことを知り、その人柄に触れる中、神の前を自分のために生きる生き方と完全に決別し、主のような心を目指して歩んでいきたいと願うものです。

今、置かれている場所で隣人を思いやり、困難にある人に手を差し伸べる。自らのものを手放し、犠牲を払うことがあっても惜しまず与えていく。主の助けを祈り求めつつ、その信仰にまで成長していきたいと思えます。そして、神の前を真実に生き、愛のわざに生きる一人一人の姿に触れた人々が主を信じ、周囲が神の家として建て上げられていくなら、まことに幸いなことです。今日ここから隣人愛に生きる道を一步踏み出していきましょう。

## 《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、  
愛と交わりを通して  
お互いに成長する教会

## 《2026年度

## 教会全体課題》

神さまによって

示された新しい歩みの中で、  
キリストの体として的一致を

祈り求める

ーコミュニケーション、交わり、

伝道、学びなどを通してー

## 《今日のお知らせ》

○教員メンバーリングリストでお知らせした通り、  
現在エレベーターがご利用できません。復旧  
までの間、ご不便な状態となりますが、ご協  
力の程、宜しく願います。

## 《ロビーの会より》

本日の礼拝後、ロビーでコーヒーマーサビスを  
行います。ホットコーヒーとお菓子を七〇円で  
販売します。どうぞお越しください。

## 《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで  
行います。

## 《祈りの会より》

本日、礼拝後一二時三〇分より第二・三シオ  
ンルームで祈りの会を開催いたします。皆様の  
参加をお待ちいたしております。

## 《ルツの会より》

礼拝後、ルツの会を地下ホールで行います。民数記二五  
章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加くだ  
さい。

## 《愛餐会班より》

七月二日(日)諸聖徒記念の日に愛餐会を行います。ロ  
ビーの掲示板に申込書を掲示しますので七月五日(日)まで  
に記入をしていただきたくよろしくお願い致します。  
会費は四〇〇円です。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

〔詩篇十二篇〕 指揮者によつて。第八調。  
賛歌。ダビデの詩。

主よ、お救いください。

主の慈しみに生きる人は絶え

人の子らの中から

信仰のある人は消え去りました。

人は友に向かつて偽りを言い

滑らかな唇、二心をもつて話します。

主よ、すべて滅ぼしてください

滑らかな唇と威張つて語る舌を。

彼らは言います。

「舌によつて力を振るおう。自分の唇は自分のためだ。

わたしたちに主人などはない。」

主は言われます。

「虚げに苦しむ者と

申している貧しい者のために

今、わたしは立ち上がり

彼らがあえぎ望む救いを与えよう。」

主の仰せは清い。

土の炉で七たび練り清めた銀。

主よ、あなたはその仰せを守り

この代からとこしえに至るまで

わたしたちを見守ってくださいます。

〔司・会〕

主に逆らう者は勝手にふるまいます。

人の子らの中に

卑しむべきことがもてはやされるこのとき。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「良い羊飼いがおられる」

聖書 マタイ9章35〜10章7節

説教者 宮間 彰 広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「主イエスの最初のしるし」

聖書 ヨハネ2章1〜11節

説教者 吉村 和雄 名譽牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讚美歌 491番 284番

説教 「主のおしえを生きる幸い」

聖書 詩篇1章1〜6節

説教者 黄允湜 牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 73番 329番  
説教 「祭司の王国、聖なる国民」  
聖書 出エジプト19章1～6節(旧約P.124)  
司式 石川 一兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「いと高きにある神にのみ栄光あれ」J.S.バッハ

### ○讃美歌73番

- くすしきかみ たえなる主よ かいなきわれにも  
くだしたまえ 主のみたまを あふるるばかりに  
あたえたまえ 主をたたうる うたごころを
- あおき空よ つくりぬしの みいつをあらわせ  
かがやく日よ 主なるかみの みさかえ示せや  
つきよ ほしよ こえをあわせて み名をほめよ
- かみを知れる ひとの子らよ すくいをたたえよ  
主をあいする あまつたみよ み代をばことほげ  
とわにいます 主なるかみに みさかえあれ  
アーメン

### ○讃美歌329番

- みまねきかしこし 我らはゆかん  
過ぎしを忘れ 行くてを望み  
高きめあてに きおいてゆかん
- みまねきかしこし 我らはゆかん  
はらから共に 手をたずさえて  
助けあいつつ いさみてゆかん
- みなねきかしこし 我らはゆかん  
おのれをすてつ 十字架を負いつ  
あまつうたげに あずかるまで  
アーメン

聖餐曲「変奏付きアンダンテ」F.メンデルスゾーン

後奏曲「イエス、おどろくべき王」D.ワグネル